

温篤新聞

通巻110号



「アップルからみえる東洋思想。」

Can You Imagine?

あなたは想像できましたか？
ガラケーと呼ばれる携帯を使っていた時代に、スマートフォンと呼ばれる携帯端末が普及し、皆が当たり前のように使う今の時代が。

その誰も予想すらしない未来を夢見て実践し、時代を作ってきた人の一人にアップル社元CEO『ステイブ・ジョブズ』が挙げられるのではないだろうか。

彼は21歳の時にホームコン

ピュータの礎となる「Apple I」を開発しましたが、社内での立ち振る舞いがトラブルとなり会社を退社しました。

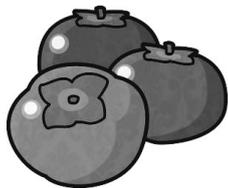
しかし、11年後にアップル社の業績不振もあり、復帰する事となりました。その後は皆さんも御存知の通り、あのシンプルな操作性を持った『Pod』『iPhone』『iPad』と次々とヒット商品を送り出し、世の中の生活を一変させてきました。

そんな彼は、大学を中退し

医食同源

柿のへた

横隔膜の痙攣を鎮めて、しゃっくりを止める働きがあります。食後、時間がたつてからの嘔吐や、血尿の改善にも用いられます。しゃっくりには、柿のへた5〜6個を400ccの水で20〜30分間、弱火で煎じ、茶こしで濾過し、冷ましたものを数回に分けて飲みます。数日で止まらない時は、柿のへたを含んだ他の処方を用いますが、症状に寒性と熱性の違いがあり、用いる処方も異なるので、専門医にご相談を。



今月のツボ

陽池(やうち)

「陽」は陰陽の陽で手の甲のことを表し、「池」はいけを表しています。つまり東洋医学で病気の原因と考えられる邪気が溜まりやすい場所であることを示しています。



場所は、手の甲を上にして指をグッと伸ばします。その時に手首を探ると関節部の真ん中と小指側に

2本の硬いスジを見つけたことが出来ませんが、陽池はこの2本のスジの間にできる窪みの中にあります。つまり、手首の横じわの中央辺りに取ります。
五十肩や痛みで腕が挙がらない、肩から腕にかけての症状などで用いられる他、だるさや口の渇き、頻尿などにも用いられます。

た後、インドに行き、貧困に触れ大きな衝撃を受けました。その時に仏教に触れ、禅における『簡素』の教えを知り「シンプルであることは複雑であるよりも難しい」という考えで、億万長者になつてからも極力贅沢品は持たず質素な生活を送りました。

何が必要なのかを見極め、要らない部分を徹底的に削るアップル製品に見られるシンプルさも、その教えの影響があったと言えますし、ジーンズに黒いタートルネックという服装もシンプルと機能性を備えた彼なりの作業衣だったのでないでしょうか。

しかし、ジョブズは56歳という若さで膀胱がんのため亡くなります。「誰も死にたい人なんていない。天国に行きたいと願う人ですら、そこに行くために死にたいとは思わない。諸行無常というように、全てのものが続かない。自分の身の

回りにある人や物も全てが変わる。究極の無情は自分自身が死ぬこと。もしかししたら死ぬではなく100%死ぬ」

人というのは、外部からの期待や己のプライド、屈辱や挫折に対する不安などがあり、空気を読んで皆に好かれる生き方をした方が楽ですが、全ては死んだ瞬間に消え去り、本当に大切な事だけが残ります。だからこそ彼は座禅をし、日々自身身に問いかけ、自分自身が本当に望むものを徹底的に見ようとし、シンプルで美しく、見えないところまで美しい商品を開発してきました。
そんなジョブズ無きアップル社は例年9月に新商品を発表してきましたが、今年はいわにどんな夢を与えてくれるでしょうか。



二十四節気七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

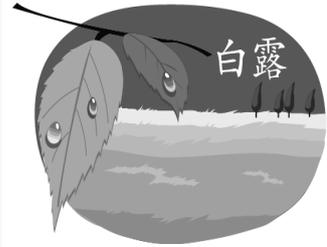
また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらは大抵五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

二十四節気

白露

(九月八日)

昔の人は、草木に降りた露が白濁したように見えることを、夏から秋への交代期の目印としたそうです。昼間の残暑はまだまだ厳しい時期ですので、白露という言葉にせめて涼しさを感じとりたいものです。



『家庭と職場』

家庭と職場は相互に密接に関係しています。職場での喜びや悩みが、そのまま家庭に反映します。そして、家庭が明るく楽しくなければ、職場においても仕事の能率に影響するし、周囲と明るく接することも、なかなか出来ないものです。職場で明るく生きがいを持って過ごす人は、家庭においても明るく楽しい生活が送れるのではないのでしょうか。

私たちが生き生きと働き、明るい職場や家庭を作っていくためには、周囲に心を配り、恩に感謝し報いていくことが大切です。このような心づかいと行いを積み重ねることによって、心の通い合う温かい人間関係を築いていくことが出来るのです。そのために今、私たちも自分の出来ることから始めてみようではありませんか。

「一日一話」より

七十二候 (九月七日~十一日頃)

草露白(くわのつゆ じやく)

早朝、野山を歩くと木々の葉や草花に小さな露が降りているのに気が付きます。露は放射冷却などで空気中の水蒸気が冷やされて出来るもので、夏から秋への季節の代わり目など、朝晩の気温が下がる時によく見られます。「霜が降りると晴れ」といい、足元を濡らす朝露は清々しい一日を約束してくれます。

旬のくだもの

桃

原産地の中国では果物の中でも特別な存在で、その木は邪気を祓い、その実は不老長寿を授けるとされます。『西遊記』には天界で蟠桃園の番人を務めていた孫悟空が長寿を与える仙桃を食べ尽くすエピソードが出てきます。

果実としての桃は秋の季語になっていますが、7月には出回り始め、最盛期を迎えるのは8月になります。葉はあせもや虫刺されに効くとされ、昔は子供の行水に桃の葉を入れた桃湯を使ったりもしました。



9月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	⑭	15	16	17	18	19
⑮	⑯	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

執筆余話

パソコンの生みの親とも言えるスティーブ・ジョブズ氏のお話を書かせて頂きましたが、デジタル機器に頼り過ぎな生活も困ったもので、休み明けにパソコンのスイッチを入れてみたら、うんとすんと立ち上がらなくなり、東日本大震災の時を除き20号まで、期限通りに発行して来た新聞が20日にお渡しできなくなっていました。

バックアップを取っていなかったので一時は冷や汗ものでしたが、幸いデータの損傷もなく返ってきましたので、遅ればせながら発行の運びとなりました。

デジタル機器やらステイブ・ジョブズやら興味のない方々には、なんのこっちゃの内容かもしれませんが、ジョブズが心酔した仏の教えは、ストレス社会の現代では、大切な事かもしれません。ジョブズの手を色々調べていたら、すっかりファンになってしまいました。



誠に勝手ながら、9月29(土)はお休みとさせていただきます。